

本記号の主な内容

平成23年度東京支部 総会のご案内

7月2日(土) 12:00

(受付: 11時00分より)

場所: サンミ高松7丁目店

東京都中央区銀座7-13-20

会費: 男性 7,000円

女性 5,000円

29歳まで 5,000円

20歳まで 無料

当日電話 03-3546-8182

問い合わせ先電話 03-5568-3320

高松商事(株) 内 紫雲会東京支部

事務局 漆原慎二

サンミ高松7丁目店案内地図

最寄駅: 東銀座(都営浅草線・銀座線)



東日本大震災へ義援金!

3月11日の東北・関東太平洋沿岸で起こりました巨大地震と大津波によって多くの犠牲者と災害をもたらしました。更に、福島原発事故と従来にはない大災害となりました。紫雲会東京支部として、今回の大震災に応援をなくしてよいのか、どうか、役員幹部・支部長で議論し、些少でございますが気持ちよく伝わるように、日本赤十字社へ義援金として寄付させて頂きました。同窓会の活動範囲外ではないのか、というご批判もありましたが、社会とのつながりの中での同窓会という事で、皆さまの総意を確認すべきところではございませんが、現地の実態から考え甲斐が大切だと思ひ、借越して実行させて頂きました。

紫雲会東京

平成23年(2011年)

5周年記念号

発行者 紫雲会東京支部長 安西 愈
印刷所 (有)ひまわり印刷

会報5周年記念号を祝して

最高顧問 S28年卒 溝渕利幸

東日本大震災の被害者の方々に、心よりお見舞いを申し上げます。この災禍に心痛の思いで、日本赤十字社を通じ義援金を寄付し、福島県の農産物類をレストランで使用する等、微力ですが復興に協力致しております。東北地方の皆さまには大変な災難に直面していますが、国民が丸となりこの一大事を乗り越え、一日も早く安全・安心な生活が来ますよう願っております。このような状況下で誠に心苦しいのですが、取って明る元気に勇気を出すためにも、会報記念号発行のご挨拶を申し上げますことに致しました。

会報5周年記念発刊誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。前例の無いところから素人が手探りで企画し、取材や原稿依頼に奔走し、会報委員諸氏のご努力は大変なご苦労だったと思います。心より感謝致しております。会報は初版から、内容は非の打ち所のない立派なものでした。紫雲会会則に、「会員相互の親睦・連絡を図り、母校の発展を援助することを目的とする」とあります。会報には、同窓の先輩・後輩と母校との間に、「愛」が流れています。「懐かしさ」「癒し」「安らぎ」が動「夢」「望」「幸せ」等が、読んでいると伝わってきます。会報は大切な情報提供し、連絡を密にする役割を立派に果たしており、紫雲会東京支部の信頼を高め格調と誇りの高さを示すものであります。会報の益々の充実と発展を願ひ、簡単ですが「会報5周年記念号を祝して」のご挨拶とさせていただきます。

若人コラム

“mimikaさん” インタビュー

——高商ではどんな学生でしたか?
M 学問とスポーツの文武両道を目指していました。学業では情報処理科に、スポーツはバレー部に属していました。バレーボールは小学、中学、高校と一貫して取り組んできました。

——音楽界デビューのきっかけと、それはいつ頃でしたか?
M 幼稚園の頃から芸能界に憧れを抱いていました。高校生になつて各種オーディションを受け、その中で、歌手になりたいという気持ちが大きくなりました。とにかく自分のことを知ってほしいといった思いの中で、見つけたのが路上ライブでした。それから毎日、路上ライブを演奏しながら自主制作のCDを売ってきました。音楽スクールの先生がCDを出しましょう!と、お誘いがあったのが、本格的なきっかけです。デビューは2006年(平成18年)でした。



——あなた
の音楽ジャンルは何で

——高商ではどんな学生でしたか?

M 元氣「ポップロック」です。『元氣』は私のシンボルでキャッチフレーズなのです。

——今までに影響を受けた歌手やアーティストはどなたでしょうか?

M アヴリル・ラヴィーンさん(カナダ出身)です。カリスマ性の強い方で、オーラを放つ存在感抜群の代表的なシンガーソングライターです。強く美しいサウンドは人を魅了して止みません。日本人では奥田民生さん、木村カエラさんでしょうか。——音楽を通じて、聴く人達に何を伝えたいのですか?

M 世情はやや暗く、皆様には笑顔で『元氣』そして『希望』を持っていたいただきたいのです。

——歌詞はどのように作るのでしょうか?
M まず、テーマを決めます。進め方はテーマによって違います。通常、歌詞から曲へ行きますが、逆に曲から歌詞へ行くケースもあります。歌詞は本、雑誌からヒントを得ることもありますが、人の様々な考え、人生観をお聞きする時、私の心にガーンと響く核心的な言葉にふかふかがあります。あるいは、その現場で思ふぬ心を打つ出来事に出会うこともあります。

——これ等を必ず日記に記帳し、テーマ作りや作詞に活かしています。作詞は誰に何を聞いて欲しいのかを最初に考えます。ただ、自分本位に遣り過ぎて、他人に聞いてもらえないこともあるので、独り善がりの判断は避けなければなりません。より強く伝わる方法がないか、とか考え込みます。曲作りは何処まで追及したいのか、ゴールが見えない仕事なのです。正解がないだけに不安がよぎり、完成するまでは書き直しの連続で、常に難産となります。それだけに、完成の喜びは何事にも変えがたいもののです。

——あなたの作詞の中で、自分

らしさは何処でしょうか?

M 私は、現時点のステージに合ったものでメッセージを自分らしく表現できれば良いと思います。希望を捨てない、あるいは、あきらめないメッセージを組み込んで歌詞を作っています。今だからこそ歌える歌を作りたいのです。たとえば、装飾部分を変えても、芯(希望)を絶対に外さないで歌詞を作り歌い続けたい。これが私の拘りなのです。

——今後の活動予定、目標を自分

M 大きな活動予定として、6月26日に新宿ライブハウスにてワンマンライブ。11月に東京、高松にてチャリティーライブを主催。今年はシングル版CD3枚、アルバム1枚を出す予定です。目標として、全国の演奏者になり、更にはNHKの紅白に出場したい。そのためにはライブだけでなくメディアに取り上げていただけるよう努力したいと思ひます。

——紫雲会東京支部の皆さんに送るメッセージをお聞かせ下さい。

M この度は東京支部会員として仲間に入れていただき、大変有難く感謝の気持ち一杯です。仲間が大勢いることが私にとって心強く励みになります。今後も宜しくお願いいたします。

——以上
本インタビューは本年2月28日、サンミ高松本店で行い、撮影は関 邦義様、インタビューは造田貞男でした。礼儀正しく、終始笑顔で対応され、私たちも元氣付けられました。尚、ミミカさんは4月20日(水)さきき倶楽部での「若手音楽家を育てる会」で演奏されました。

mimika プロフィール

高松市香川町浅野出身。年間15,000枚以上のCDを路上ライブ中心に販売。1日販売1,000枚完売に成功。24時間路上ライブや、全国ロードショーを行い、ライブ音楽アワード1位、1日7万7千枚達成。またHonda、加ト古のCMソングや、はなまるうどんソング、日テレおもしろDON!、TBS「イナズマ11」『7人カン』ソングなど、東京FM「BRAND NEW SONG」に楽曲が起用され、東京FMにて音楽番組を担当。2009年10月より、『MUSIC FOR CHILDREN』を立ち上げ、子供たちにソングを届ける『ソング』を定期的に開催し、これまで2,440人の子供の命を救う。2010年4月より、My Space 新曲の『カロードラゴン』で史上初の10週連続1位を達成。



税理士法人 岩瀬総合会計事務所

代表社員税理士・岩瀬成朋

社員税理士・岩瀬 博

武蔵村山市三ツ藤2-45-6

TEL 560-7666 / FAX 560-7667

〔八王子事務所〕

八王子市北野町172-7 くさの北野ビル2F

TEL 042-649-8800 / FAX 042-649-8520

安西法律事務所

弁護士 安西 愈

(S32年卒)

〒104-0061

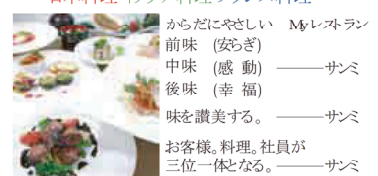
東京都中央区銀座3丁目4番地1号大倉別館3階

TEL 03-3563-3225-7

FAX 03-3561-2446

美味しいお料理と最上のおもてなし

日本料理 イタリア料理 フランス料理



代表取締役会長 溝渕 利幸 (昭和28年卒)

銀座 Sun-mi 本店 〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9

TEL 03-5568-3300 (総合受付)

並木通) 店 銀座7 丁目店 横浜 伊勢佐木町店

再生紙を使用しています。

特筆すべきは、支部長、支部長代行のご努力で決定しておりました、今年度より紫雲会本部から支部への補助金15万円が30万円と増額されました。支部収支状況が厳しい折に大変喜ばしいことでした。組織を整備し強化した運営を図るため、常任理事会傘下の6委員会に「年次幹事推進委員会」、「総会実行委員会」2委員会を加え、8委員会といたしました。親睦・交流委員会では、9月30日に第5回ゴルフ会をCPGカント

リークラブで開催。10月28日には日帰りバス旅行「富士山麓周遊とスバルライン・ツアー」を実施。会報4号を発行し、広く会員の皆様に支部活動状況をお知らせしております。東京香川県人会が11月4日に開催され、紫雲会東京支部より、関、古田両常任理事が県人会理事に任命されました。

平成22年度の付議事項は決議を要するもの4件、報告事項12件の16件でしたが、全て総会にて承認されました。決議事項の内容は、1.平成21年度会計報告及び会計監査報告、2.平成22年度事業に関わる予算、3.新理事候補（6名）、新幹任理事候補（3名）、会計監査（2名）選任の件、4.細則改定の件

は（敬称略）1.「年次推進委員会」と「総会実行委員会」を常任理事会下部組織に新設。2.9月30日にC.P.G.カンパリークラブで、第5回ゴルフ会開催。3.10月28日バスで「富士山麓周遊とスバルライン

雨にも怯まず
行ってきました！
「富士山麓周遊とスバルライン」
副委員長 S 34年卒 山中イツ子

平成22年度紫雲会親睦・交流日帰りバス旅行は10月28日（木曜日）に実施いたしました。はとバス定期観光コース「富士山麓周遊とスバルライン」を紫雲会東京支部の貸切として参加者は27名。当日はバス貸切のり融通性を生かしてゆとりの9時東京駅を出発。生憎の雨模様となりましたが、個人のドライブと一味違いながいすが、嫌の軽やな説明を受けながら：富士スバルラインの紅葉を恣にしに眺め、「富士ビクターセンター」へ。初めて富士山の歴史を納めた写真パネル等を熱心に見て回った人も多かったのでは。富士山五合目にて

寄付金協力要請に対し東京支部と
て200万円を目標に会員にお願
いすることを決定 12・紫雲会大阪
支部創立60周年記念総会（6月13
日）に東京支部より支部長以下7名
が出席 13・学校創立110周年記
念式典、紫雲会110周年記念総会
（11月24日）に東京支部より支部長
以下7名が出席

ツア」4.「紫雲会東京」会報4号を5月末に発行送付しました

5. 東京香川県人会では紫雲会より関邦義、吉田勝昭両常任理事を同会理事候補として推薦し、その後の東京香川県人会総会にて承認されました

5. 薄澤委員会では、東京支部会員名簿の一部修正とアドレスシールを作成し、今年度の総会案内等の発送

6. 会員、理事の拡充を図ります

7. 年次幹事会を5月22日に開催

8. 芸術分野で末沢晴代さんを表彰

9. 紫雲会東京支部総会を7月3日に開催

10. 総務委員会の中で「ホームページ研究会」を立ち上げた

11. 学校創立110周年記念事業費(総額2,200万円)

4名・35年卒2名・
半卒2名・38年卒
1名・39年卒1名・
半卒1名他校出
1名計27名

迎えて、第5回紫雲会東京支部
ルフ大会を市原市のCPGカント
リッククラブで2010年9月30日に
開催しました。第1回より第4回ま
で、上田康夫さん（昭和28年卒）の
お世話にて大多喜カントリークラブ
で開催し、参加メンバーも増殖し
定着してきました。第5回より引き
継ぎ、ゴルフ銀座の市原市に会場を
移し、伝統となりつつある小雨の中

影時は一段と盛り上りを見せてい
ました。）卒業
年度別参加人
数は次の通り
です。

31年卒2名（天
妻、32年卒5名・
33年卒7名・34年
卒5名）



休息 此処では想定外の風雨の歓迎？を受けた！が記念写真では全員ニコリ！ホテルハイランドリソートにて昼食の懷石弁当を味わい大雨も忘れたかの様に、参加者全員のエスプリに富んだ自己紹介と歓談その後 珍しい白岳風穴を探究。朝霧高原を経て白糸の滝へ。滝場へ急ぐ者、バスの中で一息つく者等々……ひと時を過ごして帰路に着きました。「晴れた日にもう一度訪れよう!!」と思った人も多かったのでは？雨にも怯まず「富士山麓周遊とスバルライン」バス旅行となりましたが、同窓生同士の心安さで和氣謫々和やかに一日を愉しむことが出来ました。今回も記念写真は33年卒中西勲様

で、安西支部長以下18名の参加を得てプレーを楽しみました。競技結果は優勝 大野 勲 (32年) さん N E T 72・0、準優勝 筒井文男 (31年) さん N E T 73・4、3位 北條勇 (39年) さん N E T 73・6でした。大野 勲さんの

昨年度、私は記念事業実行委員会
の事務局を任され、協力をお願いす
るため、紫雲会東京支部総会へ出席
させていただきました。私にとりま
して、その時の感動は一生忘れられ
ないものです。和やかで気品のある
雰囲気と組織として見事に活動さ
れている洗練された会運営。美しい
の優れたものを築き出すとされるゆ
えと。しっかりと結ばれた信頼と
絆。どう生きるときかを教えていた
だいたように思います。特に、「48
年卒です。」と言え、知り合いで
はなかった方にも受け入れてもら
えて、なつかしい人と再会した時
のように話ができる喜びは、かけが
えないものでした。強い絆で結ばれ
そこにいる全員が一つになっている
という実感、そこにはみごとな「た
かしょう」が存在しました。

私のこの感動と似た気持ちをも
多くの生徒が記念式典を通して感
じたようです。式典後、生徒全員に
アンケートを実施し、「心に残ったこ
と・よかったこと」を質問したところ、
次の【回答】のような感想が寄せら
れました。生徒が、自分自身の中
の「たかしょう」に対する誇りと愛

前回優勝につづく2連覇を許す結果となりました。ベストゲロスも84の大野さんでした。

東京支部および安西支部長からののご支援と北條さんのお手配による株主優待券により楽しくくプレー出来ました事に厚く感謝申し上げます。少々。

心等、純粋な気持ちに気付けたのも、生徒・同窓生・PTA・職員が一同に会して創立110周年を祝えたからだだと思います。そしてなによりも同窓生の方々の「たかしよう」愛が生徒の心に一体感と感動を残したのだと考ええています。

だと思っています。

創立110周年記念を終えて、紫雲会の皆様方の母校に対するご理解とご支援に心から感謝し、皆様方のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

【回答】多くの人が高商のことを大切に思っていること。高商を卒業した方々が高商出身だということを誇りに思っていることを知って感動した。いろんな年代の人たちが一つの場所に集まるところがよかった。紫雲会の人と触れ合える。卒業生が式典を通して母校を思い出し、集まってくるところ。高商にはすごいOBの方がいることを誇りに思っていた一日だった。高商出身の人には日本や世界で活躍する人がいると知って誇りに思えた点。OBの皆さんがいきいきとしていたこと。たくさんOBの方々が来ていて高商は愛されているんだと思つた。OBの方々はすごく熱心で、頑張ろうと思つた。高商に入つてよかったと心から思つた。歴史の重みを感じた！自分も頑張る。自分も誇れる学校にいたいんだということを改めて実感できたこと。いろいろな方々に支えられたこと。高商に通わせてもらっていることと事でできた点。(生徒の文章のまま)

平成23年度

東京支部定期総会のご案内

今年度の紫雲会東京支部定期総会を7月2日（土）12：00よりサンミ高松七丁目店に於いて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

平成20年度から3カ年に亘って総数130名弱の出席者をキープしていましたが、これも皆様方の熱意やご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

今年度も、総会は皆様に楽しんでいただけるような趣向を凝らしています。メインアトラクションはミミカさん（H16年卒 溝淵美佳さん、シンガー・ソングライター）のコンサート独演会です。高商出身者では数少ない歌手で、元氣と勇気を貰えそうです。

文化的な活動では、会員自ら製作した絵画、写真、書道、陶芸等を会場にお持ち寄りにいただき、その作品

を展示しております。丹精込めた作品に感動されることでしょう。次に、今年度の名誉ある表彰者として福家貴美（S35年卒）さんが5行歌の分野で、その偉業を称えられ、総会で支部長より表彰されます。

紫雲会恒例のビンゴゲームは役員等からの寄付で数多くの賞品を用意し、皆様にお持ち帰りいただくことになっていきます。是非楽しんで下さい。

総会では前年度の会計報告、監査報告、本年度の役員人事、役員任期等の変更、本年度予算、重要事項としてH.Pの立ち上げ、会則等の変更等をご審議いただく他、皆様にお知らせすべき事項をご報告いたします。

総会の式次第では概ね、校歌斉唱、挨拶、報告・審議、表彰、コンサー

ト、乾杯、懇談、ビンゴゲーム、万歳三唱、閉会となり16：00終了見込みです。

皆様にお願いがございます。会報に同封した総会出欠票を是非お出しいただきたいのです。昨年の実績は出欠回答者が27・5%で、返信無しは67・5%でした。

年に1回の総会ですから、仮称「総会委員会」では心を込めて企画・立案し、総会後も反省会を開催して皆様のご期待に沿えるよう努力されています。ご面倒ですが、何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、3月に、東日本大震災による悲惨な災害が連鎖的に発生し、国難と称される未曾有の大惨事となりました。国内外から多くの支援を得ているものの、復旧には更なる財政支出と長期に亘る支援体制が必要とされています。このような状況であればこそ、私達は沈むことなく、元氣になって、復旧に全力で支援し、大局的には、日本経済の活力を取り戻さなければなりません。

景気の低迷がこのまま続けば、学校卒業生の就職活動にも多大な影響が出るのは必定です。この意味で、ミミカさんの元氣付けのコンサートは時機に合ったものと申せましょう。

平成23年度事業計画

本年度は下記の活動計画を推進します。

1. 組織の充実

（1）理事候補 6名、常任候補 1名を夫々選任します。（2）委員会とその他の組織を改編する。2委員会を統合して総会委員会とする。名称を簡素化して会報委員会、年次幹事委員会と呼称変更する。（3）ホームページ（H.P）委員会を新設。その他の組織として、80周年記念プロジェクトを設置する。

（4）各種委員会ではその都度、年2回の常任理事会、年1回の役員会を開催する。

2. 親睦・交流事業

（1）本事業を発展強化するため、助成措置を引き続き講じる。（2）東京支部第6回ゴルフ大会を10月4日、PGC（千葉）において、開催する。（3）東京支部会員の家族の口帰り旅行「小江戸川越散策」を10月23日挙行政。 （4）東京香川県人会総会は11月7日に開催するので、大勢の参加を求める。（5）年次（学年）同窓会の開催を勧奨する。

3. 広報活動
（1）広報紙「紫雲会東京」5号紙記念号を6月に発行する。（2）ホームページは4月より開始する。

4. スポーツ・カルチャー事業
（1）表彰者の顕彰。（2）会員作品（絵画、写真、書道、陶芸等）を展示。（3）会報による会員作品俳句（川柳、五行歌等）を（俳壇、歌壇）にて、更に優秀な方々を記事にて積極的に紹介。

5. 基盤整備事業

（1）会員名簿の保全に努める。（2）会員（未登録者、理事の拡充に努めます。（3）年次幹事会を5月21日に開催する。

6. 支部定期総会

平成23年7月2日（土）12：00
16：00支部定期総会を開催する。

平成23年度第6回ゴルフ大会のご案内

委員 片岡英明
委員長 S32年卒

昨年の第5回大会の表彰式パーティで「第6回大会は「雨の降らない日に、CPGで」との申し合わせにより、次の通り企画致しましたのでご案内申し上げます。会場のCPGカントリークラブは近く開場50周年を迎へ、落ち着いた雰囲気です。大

野勲さん（32年卒）の3連覇を阻止するか、許すか。腕自慢の方のご参加をお待ちしております。

1. 開催日2011年10月4日（火）

9：00集合
9：34スタート

2. ゴルフコース CPGカントリークラブ 市原市川在974
電話 0436-3611251
クラブパス 8：30

JR内房線五井駅発 約20分
高速館山道市原ICから 約15分

3. 参加費

プレー費 約11,000円（キャディつきカート、ランチ、飲み物別）
参加費 3,000円（パーティ、賞品代）

4. 表彰

支部長杯他多数
5. 申し込み先 東京支部事務局

幹事 片岡英明
電話&Fax 0436-231-7839

http://www.h-kaioka@icn.ne.jp
①支部事務局 漆原慎二
電話 03-5568-3320
Fax 03-5568-3310

6. 締切

9月15日（木）

参加しませんか！「川越散策」

副委員長 S34年卒 山中イツ子

23年度の親睦・交流会は次のように「日帰りバス旅行」を実施いたします。回を重ねるごとに参加者の人数も増え、特に初参加の方々が目立つ様になりました。今回は日曜日に実施いたしますので在職中の皆様にも気軽にご参加いただけると思ひます。秋の一日を徳川家光公誕生の間や春日の局の化粧の間など貴重な建造物の「喜多院」や蔵造りの美しい町並みの散策にご参加下さいませ。ご案内申し上げます。

実施日 10月23日（日曜日）

行き先 「小江戸川越散策」：貸切観光バス利用：
会費 6,500円（観光バス代・駐車料、昼食代（会席膳）、ガイド代5H、写真代等含む）

集合場所：時間 池袋駅 8時45分
解散場所：時間 池袋駅 18時（予定）

コース 池袋駅→喜多院・中院→屋敷（会席膳）→市立博物館・本丸御殿→蔵の街散策→池袋駅

会費納入 当日現地にて
申込先 ①親睦・交流 担当 34年卒 山中イツ子 ②各年次幹事

様 ※申込書の提出必須！！
締切日 7月20日（水） 定員になり次第締め切ります。

スポーツ情報

（8面に写真掲載）

①宮本洋子さん3種目で金メダル
常任理事（会報委員）S33年 中西 勲
昨年12月6日から12日、マレーシアのクアラルンプールで行われた「第16回アジアマスターズ陸上競技選手権大会」でS38年卒の宮本洋子さんが、65歳以上のクラスで100M、80Mハードル（共に大会新）、300Mハードルの三種目で見事に金メダルを獲得しました。これまでもインターハイや国体、そのほか国際大会、世界マスターズでも活躍されています。宮本さんは「現役時代は楽しいという感覚は持ちませんが、今はひとすらすら楽しい。生涯現役アスリートを目指して、今日の我に明日は勝つ」を目標に頑張ります。喜びを語っていました。尚、今年の7月にアメリカで行われる「世界大会」に出場の予定です。

②春の高校バレーに高商女子出場
第63回全日本バレーボール高等学校選手権大会が平成23年1月5日から東京体育館で開催され、母校の女

4面へつづく

子バレー部が出場しました。戦績は一回戦「県立岐阜商」と対戦し2対0と快勝、翌日の二回戦は長崎の強豪「九州文化学園」と対戦したがセットカウント1対2と善戦するも、惜敗しました。尚、一、二回戦とも紫雲会東京支部有志による応援団が結成され、延べ20名の会員が野球部OBの杉ノ内さんのリードで力一杯応援しました。また大会前日の1月4日、紫雲会東京支部「安西支部長榎本支部長代行、安西 彰及び中西勲常任理事」の4名が宿舎を訪問し、植松監督及び選手17名の皆さんとお会いして激励すると共に、「お祝い金」を贈呈いたしました。

③全国高等学校柔道選手権大会
この大会に出場が決定していた高商男女は、残念ながら同大会が「東日本大震災」のため急遽中止になりました。

④高知マラソン大会新
やつたぞ！長尾正樹選手
支部長代行 S 32年 榎本恵一

昨年1月元旦、高商平成18年卒業日本体育大学4年生として箱根駅伝で最も急峻な5区、芦ノ湖までの箱根の山を走った長尾さんは、四国電力に就職、陸上競技部に所属し、初めての高知マラソン（平成23年2月27日）に出場し、従来の記録を55秒短縮した2時間14分24秒、大会新で優勝した。今回、監督からマラソン出場を勧められた経緯もあります。が、本人自身マラソンを経験してみたい気持ちから前々から持っており出場を決めたようです。長尾選手が言うには、琵琶湖、福岡マラソンのような大きな大会の選手は、速さのペースの上げ下げの差が激しく、何よりもスピードの高いレースとなっているようで、近い将来、マラソン選手としての目標を持っています。長尾さんの家族や、高商時代のコーチ岡先生（S 54年卒）の声援が、折れそうになった心を勇気づけてくれた

走する事が出来た、感謝の気持ちがイッパイです。長尾選手談

平成23年度
表彰検討委員長 S 39年卒 池田政廣

『表彰者のご紹介』
23年度の表彰者は昭和35年卒の福家貴美氏（五行歌）に決定致しました。

福家さんは今から約10年前に勤めていた職場で定年を迎えるに際し何か趣味を持ちたいと考え絵手紙を始められました。絵手紙は絵だけでなく、言葉を添える必要があり言葉の分野に関心を持ち、五行歌という分野があることを知り創作活動をスタートしました。創作の楽しみから新聞社へ投稿を続け入選、特選に続き年間優秀賞にも選ばれました。その後現在に至るまで鴻巣五行歌会代表として創作活動を続けながら後進の指導を行い、月例会も100回以上（3月現在108回）開催され地域の文化活動にも大いに貢献されています。

千羽鶴が舞い降りるように
「富士」への励まし
青空を深呼吸して
届く

古希を迎えた
頑丈な手にも
輝あかざれ
ハンドクリーム
やんわり擦り込む
春立つ日

私の拙い歌集「若葉」、「富士」にたくさんのお励ましのお言葉、お便りをいただいた折の感激して詠んだ歌です。風のささやき、土の匂い、遠

香川県人会情報
ミス日本グランプリに総会華やぐ
支部長代行 S 32年卒 榎本恵一

平成22年度の東京香川県人会定期総会は、ミス日本グランプリに輝いた林史乃（みな）さん登場に一瞬じよめが起った。香川県出身で上智大学学生とのこと。今年の第92回定期総会は香川県知事であった、真鍋武紀氏より平成22年9月の選挙で、元財務省の事務次官をされていた浜田恵造氏へ変わり、初めての「四国」の海の匂いがする歌ですが、さざ波のように響き合った心をありがたく受け止めました。五行歌に入った切っ掛けは読売新聞埼玉版に「よみうり五行歌」選者 草壁焰太という投稿欄を見つけて投稿したのが始まりです。特選、入選をいただいたているうちに、いつの間にか私の心の中にぐいぐい入り込んで日記をつける要領で習慣になりました。五行で書くというのが向いていたように思います。そうしているうちに、本部から誘われて、さいたま市新都心歌会に入り、鴻巣五行歌会を立ち上げました。歌へのめり込むという程ではありませんが、還暦過ぎての趣味として仲間のいる環境には楽しいものがありました。今年で十年を迎え、思いがけなく紫雲会東京支部より表彰を受ける光栄に身体が引き締まる思いでいます。これからも一歩づつ前を向いて歩んでまいります。皆様のご指導よろしく願ひ申し上げます。

上日川ダム

総会出席です。特に強調されていたのは、「元気の出る香川」「安心ののける香川」のキャッチフレーズで県政を進めていくお話があり、前任から引き継いだ「瀬戸内国際芸術祭2010」は瀬戸内の島々の会場へ目標30万人を、大きく上回る93万人が来場される香川県の知名度アップに貢献して頂いたことでした。当日の総会出席者数は303名であり、平成20年度出席者数は平成21年度337名より、かなり下回っている。事務局の分析によると案内状発送数2561通、出席回答326通、欠席回答802通、返信総数1128通、返信率44%となり、段々と返信率が悪化してきている。来賓が19名居り、真水では284名である。県人會も問題を含んでいるように思う。高松商業関係出席者は今回23名出席予定でしたが21名出席となりました。

今回、役員人事のことで相当に論争となり平成23年まで争点が持ち越しとなり、その修復を図っています。ことの発端は、香川県を4つの地域に区分して、幹事会で各総会ごとに地域で受け持つことにしています。ある地域から4人の副会長候補が推薦され、その地域は既に4人の副会長が居り、その上に4人の副会長候補を幹事会に

出してきたものですから、幹事会には紛糾し、その後に関心理事会に遅刻する状態となるので、妥協策を提示し、理事会に臨んだのですが、副会長候補の経過説明もせず進行をしたものですから、更に雰囲気が悪化し、後日2回にわたって幹事会を開き、皆の意見を議論し、収拾策を講じています。親睦団体ではあっても、民主的で透明性のある運営を図っていくことが重要であり、パランスの偏ったやり方では会の運営はうまくいかないことの事例です。私達の紫雲会東京支部も、透明性のある、開かれた会員のための民主的な運営方法を図るために、プラン・ドゥー・シイのマネジメントサイクルを意識し、やったことの結果に対して評価を強化する必要があります。

元気の出る香川、日本を
目指して
香川県東京事務所長 松尾恭成

3月11日に発生した東日本大震災は、マグニチュード9.0という未曾有の大震災に加え、沿岸部を襲った大津波、最悪のレベル7に達した福島第1原発の事故という、3重苦の状態に陥つたため、エレベーターなどの一部停止や鉄道の間引き運転、屋内照明や街路灯の消灯などの節電が行われています。香川県でも、職員の出してきたものですから、幹事会には紛糾し、その後に関心理事会に遅刻する状態となるので、妥協策を提示し、理事会に臨んだのですが、副会長候補の経過説明もせず進行をしたものですから、更に雰囲気が悪化し、後日2回にわたって幹事会を開き、皆の意見を議論し、収拾策を講じています。親睦団体ではあっても、民主的で透明性のある運営を図っていくことが重要であり、パランスの偏ったやり方では会の運営はうまくいかないことの事例です。私達の紫雲会東京支部も、透明性のある、開かれた会員のための民主的な運営方法を図るために、プラン・ドゥー・シイのマネジメントサイクルを意識し、やったことの結果に対して評価を強化する必要があります。

派遣や救援物資の提供、被災者の受け入れなど、全力を挙げて、被災地支援に取り組んでいます。今回の大震災の影響は、想定外の大きさであり、復興には相当の期間が必要ですが、日本人の英知と団結力があれば、必ずやこの国難を乗り切り、再び元気の出る日本が実現できると信じています。さて、香川県では、昨年9月に浜田知事が就任し、「元気の出る香川」、「安心できる香川」、「夢と希望あふれる香川」を柱に、新規産業の創出や県産品の振興、子育て支援や地域医療の充実など、新規施策を積極的に盛り込んだ予算を編成するとともに、新しい総合計画の策定に取り組んでいます。東京事務所でも、首都圏での香川の情報発信基地を目指して、様々な取り組みを進めてまいりますので、紫雲会東京支部の皆様のご理解とご協力をお願いします。昨年は、世界に向けたビッグイベント、瀬戸内国際芸術祭が、7つの島を会場に18か国から75組のアーティストの参加を得て開催され、予想をはるかに上回る93万人の方々にご来場いただき、成功裏に終えることができました。多くの作品は展示が続いており、また、今年はシーズンイベントも開催されますので、昨年見逃した方には、是非ご来場いただきたいと思ひます。

※ART SETOUCHI
夏 7月18日（月）～8月28日（日）
秋 9月10日（土）～10月10日（日）
11月18日（金）～21日（月）には、第11回アジア太平洋盆栽水石高松大会が、サンポート高松、栗林公園、玉藻公園などを会場に、日本で初めて開催されます。「Friendship and Better Future」をテーマとし、日本文化の世界への発信と世界の盆栽愛好家との交流を目的に、数々のイベントが企画されています。この機会に、一度高松へ里帰りしてはいかがでしょうか。

また、東京・丸の内ホテルでは、7月～3月にかけて、折々に香川の食材を使った催しが開催されますので、是非足をお運びいただきたいと思います。

東京支部長挨拶

東京支部長 S32年卒 安西 愈



「ひろこう未来の扉 築こう創造の時代」というテーマで母校高松商業高校の百周年記念式典が平成22年11月24日に行われ、東京支部からは6名が出席しました。「百十年の軌跡と先輩・後輩の絆」に想いを新たにするとともに、記念の年でした。私が、溝渕前支部長より6代目の東京支部長のバトンタッチを受けて3年目に入りました。東京支部では引き続き同窓生の「みんなの紫雲会東京支部」をモットーに、全員参加に向けて今年度も前進し、HPも遂に立ち上げて広く公開され、新しく委員会も総会実行委員会、80周年記念プロジェクトという新組織もスタートし、また、平成19年度（2007年）に第1号を発刊した「支部報」も今回で5号の記念号となりました。

紫雲会新会長「挨拶」

紫雲会会長 S38年卒 真鍋健彦



謹啓 東京支部の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、紫雲会に格別のご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

この度、平成二十二年十一月二十四日の紫雲会総会において長年に亘りお世話いただいた斉藤前会長から引き継ぎ、新しく会長に就任することになりました。昭和三十三年卒業の真鍋でございます。

高松商業は明治三十六年の学校創設以来、実に三万三千人を超える卒業生を送り出している歴史と伝統のある母校であります。その伝統ある紫雲

た。何よりも会員の皆様に感謝したいのは、母校百周年記念募金で支部目標200万円を大きく上回る244万5000円が寄附されたことです。本部、大阪支部とPTA分を含め総額1942万円のうち13%と大変な協力をいただきました。さらに、大阪支部の60周年記念大会が平成22年6月13日に神戸ポートピアホテルで行われ、東京支部からは中村功東京副支部長の記念講演もあり7名が参加しました。今年度、紫雲会本部として特記すべきことは、百周年記念本部総会において、齋藤会長が退任し、新しく真鍋健彦会長（昭和38年卒）が誕生したこと。若返った新たな本部体制による発展が期待されます。現在、我が国は東日本大震災による大勢の方の犠牲に加え、原発事故、電力不足という未曾有の苦難の中にあり、日本人の心が痛みを背負い、苦しい日々が続いています。東京支部としても些少ですが義援金を寄附させていただきます。

会をお世話することは誠に身に余る光栄であると同時にこの重責を担うにあたり身の引き締まる思いであります。

私の在学中の思い出は入学した年（昭和三十三年四月）に第三十二回全国選抜高校野球大会にて第一回大会以来実に三十八年ぶりの優勝、また翌年の第三十三回大会は準優勝し、私の父も高商在学中に第一回選抜野球大会優勝（大正十三年）、また翌年の第二回大会準優勝と親子で大変素晴らしい思い出をつくっていただきました。また学んだ木道の教室（南館）はこの3月に立派な4階建ての新校舎になり、一階正面にはイタリアで活躍している平田ゆたか画伯（昭和三十三年卒）寄贈の絵画が掲げられ、一郭には過去からの汗と涙の結晶である数々の優勝旗やトロフィー、賞状が陳列されております。是非とも新校舎をご覧頂き学習、スポーツ、文化の伝統と歴史を映ゆる紫雲山の絆を大切に、今年度も東京支部の皆宜しく願ひ致します。

充実の紫雲会東京支部運営を讀んで

大阪支部長 S22年卒 北村光雄

紫雲会東京支部は安西支部長のもと、活発な支部運営をされており、今年度は「紫雲会東京」発行五周年を記念して5号紙を発行される事は、誠に意義深く、東西で紫雲会の発展に寄与する支部である立場から心から敬意を捧げます。

大阪支部も昨年、紫雲会大阪支部創立六十周年を学校ご当局、紫雲会本部、東京支部のご協力を頂き、意義ある記念式典、懇親会を無事終える事が出来まして、つくづく想う事は、高商に学び、その縁で培われた絆の大切さを身に染みて感じました。私は平成七年十一月に第六代本田又嗣支部長に続いて、第七代支部長と史を拝見頂きたいと思ひます。

昨春秋には高商創立百周年記念式典を東京支部の安西支部長はじめ大勢の方のご出席のもと盛大に行なうことが出来ました。また母校記念事業の募金活動には格別なご支援を頂き厚くお礼を申し上げます。

東京支部は会員全員参加による八つの委員会を有効に機能され、ホームページをも立ち上げ活発に展開されていますが、その組織力、行動力に敬意を表する次第であります。

最後になりましたが新役員一同紫雲会及び母校発展の為に努めてまいっている所存でありますので今後ともご支援ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

紫雲会東京支部の益々のご発展を祈念申し上げ会長就任の挨拶とさせていただきます。

を仰せつかり、十五年間多くの高商の卒業生との出会いがあり、これらの人々は会う度に、高商は早く甲子園に来て欲しい。支部総会は、懇親会は、ゴルフコンペは何時に決まりましたかと、紫雲会大阪支部で出会う仲間と会う事を待ち遠しく思つて下さる事に喜びを感じました。そのきっかけは私が支部長就任の年に春、夏、連続で甲子園に出場してくれ、甲子園で校歌を歌い、感激、感動、喜びを共にし、敗れて悲し悔しさを共にした事から生まれたと思います。

東京支部の会報はより多くの人々に高商を振り返り、同級生との再会を呼び戻す起爆剤になる事と会報の役割が支部運営に大きく寄与される事を期待すると共に、東京支部に学び、大阪支部もより活気ある支部運営を実行致し、紫雲会の両輪を果たしたいと存じます。

そのためには母校創立百周年のスローガン「百十年の軌跡、「ひらこう未来の扉」一築こう創造の新时代」の実現に東京支部、大阪支部、揃って協力し、誇りの歴史を永久に輝かそうではありませんか。

創立百周年記念事業のお礼

香川県立高松商業高等学校校長 奈良計男

東京支部の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、昨年度は、百周年記念事業の実施に当たり、物心両面から格別のご支援を賜り、誠に有難うございました。おかげをもちまして、十一月二十四日には、記念式典を盛大かつ厳粛に執り行うことができました。募金活動につきましても、生徒のスポーツ・文化活動、国際交流活動への助成のために記念基金を創設するという所期の目的を達成することができました。心からお礼申し上げます。

上げます。特に、記念式典には、遠方にもかかわらず馳せ参じてくださり、学校や生徒に対する熱いエールを頂戴するなど、大河のごとく流れる本校の歴史の重み、懐の深さというものを身をもって感じました。また、「母校を思う」「母校を誇る」「同窓各位の強い絆とそれが本校の「強み」「伝統」であるということ」を再認識し、誇りうる伝統を一層輝かし

いものにしていただければならないと決意を新たにいたしました。平成十八年度以降の校舎改築工事につきましても、三月末に本館が完成、四月に入り、新しい校舎の新築祝いと兼ねる形で、イタリア在住のOB平田ゆたか画伯から記念式典の折にご寄贈いただいた絵画「瀬戸に昇る陽」の除幕式を挙行いたしました。前途洋々たる本校の姿をイメージするとともに、生徒たちには、夢や希望、情熱をもって学校生活を過ごしてほしいとの作品に込められた思いや願いに応え、新スローガンに掲げた高商の「新時代」を築き上げるため、微力ながら努力したいと考えています。東京支部の益々のご発展並びに皆様方のご健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。

学校だより

香川県立高松商業高校教諭 S63年卒 小西裕樹

昨年度の部活動の戦績を報告いたします。夏の全国高校総体には、ハンドボール部女子、バレーボール女子、バドミントン部男子、柔道部男女、剣道部女子、弓道部男子、卓球部男女、ヨット部、ボクシング部、水泳部が出場しました。また、文化部では珠算・電卓部、放送部、OAビジネス部、商業研究部（簿記コンクール・情報処理競技）が全国大会に出場しました。

中でも伝統ある珠算電卓部が電卓団体総合競技の部で3位、同個人の部でも三木千春さんが3位と素晴らしい成績を収めました。また、バレーボール部女子が春高バレーに出場し2回戦に進出しました。春の選抜大会にはハンドボール女子、バドミントン部男女、柔道部男女、剣道部男女、弓道部、ボクシング部が出場予定でしたが、震災の影響でこれらの大会は中止となりました。出場権を勝ち取った選手にはかわいそうでしたが、被災地被災者のことを考えること致し方ないところです。夏の全国総合体育大会での活躍を期待したいと思います。

また、卒業生の活躍に関して、今回は高尾健太君（H18卒）を紹介いたします。彼は、現在、四国・九州アイランドリーグの香川オリブガイナイズに所属する野球選手（投手）です。昨年は、チームのエースとして最多勝・最多奪三振の2冠を獲得してリーグ戦前後期制覇と独立リーグランドチャレンジャーズ制覇に貢献しました。彼は、東京支部にも馴染みのある長尾正樹君と同級生（同じくフス）でした。彼が異色な点で、高商卒業後に野球の道に進まずぐ入らず地元一般企業に就職した点でしょう。その企業はガイナイズのスポンサーで、公式戦の始球式に会社代表が投げることになりました。そこで、高商のエースだった高尾君に白羽の矢が立ちました。その始球式で彼は高校時代の最速を上回る135kmの速球を投げ込み、その投球が当時のガイナイズ監督の目に止まってスカウトされ、今日に至っています。今年も高尾君には昨年以上に活躍していただき、是非、ドラフト指名をもらえる選手になつてもらうことを期待しています。皆さんも注目しててください。

ホームページ委員長 S 32年卒 榎本恵一

平成18年、前溝渕支部長時代、東京支

平成18年、前溝渚支部長時代、東京支部の活動をより活発化・透明化して、会員主体の民主的な紫雲会活動をしていく方針のもと、近い将来、会報、ホームページ（以下HP）、よろず相談会のようなものが出来るようになりますね」と話して合っていました。ところが、現実のものになってきました。すなわち、会報は第5号の発行をしてあります。親睦や交流の場は、クルージングやババツア、ゴルフ大会もだんだん参加人数も多くなってきてあります。総会では、会員の作品である絵画・写真・墨書等々々々々の作品展も好評のうちに充実してきております。その活動の源は、会員で構成している委員会が自律的に実施し、参画意識も働き、その成果も出ております。

最近のコミュニケーション手段も多様化し、若い人たちは携帯電話を手足のごく自由自在に使っている光景をよく見かけますが、(多少なかにはマナーの良くない光景も気にかかりますが) 紫雲会会長の東京支部に出席している年齢層の会員には、不得手の分野の人も多いとは思いますが、課題である年齢層をもう少し若い人達の紫雲会参加も考えた時に、従来のコミュニケーション手段だけでなく、そのコミュニケーション手段だけでなく、そのより常任理事会傘下の総務委員会が研究しているは従来からありました。そこで、昨年フット、実際のオペレーションのハードウェア、委員会で、情報や資料を集め、企画をどのようしていくかを検討してききました。しかし、若い年齢層の人達は現役であり、このHPの運用に時間をあまやとりとすることは不可能であるとの状況が判明してきました。

現在、HP委員会は7名構成で、ここ

HPの目的は、(1)事業、行事、活動の

報告、案内をタイムリーに行う。(年4回、一部書き換え)、(2)会員の交流の場にH Pを介在・活用できるようにする。(3)新会員の獲得に寄与できるようにする。を

掲げております。先ほどのハード面で技術的な操作をして頂ける業者は、「公益財団法人 新宿区勤労者・仕事支援センター」という新宿区の外郭団体であり、信頼できる相手先であります。ドメインも shinkai-kyoju.org と決まり、いよいよ4月からの立ち上がりとなりました。予算も想定範囲で取まり、守秘義務も入れた契約書を正式に結びます。

まだまだスタートしたての不完全さがあ
ると思いますが、次の書き換え時期の8
月を目指し、完成度を高めていきたいと
思っております。どうぞご意見もどんど
んお寄せください。お待ちしております。

でクリックしよう

ホームページ委員長 S 32年卒 榎本恵一

トメイン「shimkai.tokyo.org」でインターネットを検索して下さい。そこに現れるのは「紫雲会東京支部は香川県立高松商業学校のオフィシャルＯＢ会です」という文字が画面に出てきます。更に、そのウェブサイトをクリックしますと、14項目、20枚余りの画面が見られます。画面の中では、文字情報以外に会員の協力で写真提供を受けた、瀬戸内海の島々や、屋島、栗林公園が目と心を和ませてくれます。ホームページ（以下ＨＰ）の中で、主な役員、常任理事、会則、年間スケジュール、会報の閲覧、住所変更の連絡方法、会費の支払い方法、学校とのリンク等々を内包しています。これ等の事は当初、ＨＰ研しています。これ等の事は当初、ＨＰ研しています。谷本清彦さん（Ｓ32年卒）の段階から、早く準備実行段階に移すには、日頃より慣れ親しんでいる人達を委

員会として参画して頂く必要があると提言していた石田知行さん（H 8 年卒）や太田郁治郎さん（S 56 年卒）の助言を受け、雨宮 誠さん（H 3 年卒）、山邊順子さん（H 11 年卒）、山地秀佳さん（H 19 年卒）、後半には三村圭介さん（S 46 年卒）もメンバーとなり、7 人の知恵と努力で H P を創り上げることが出来ました。それと、2 月まで実務研究と一緒に取り組んだ福家正人さん（H 11 年卒）、3 月に福岡に転動となりました。メンバーに感謝です。まだまだ H P としましては、内容の充実を図っていかねばなりません。H P の特徴を活かす工夫が必要です。その一つに、スピードがあります。一部ではありますが、年間に 4 回の書き換えをすることを事前計画に入れておきます。新しい取り組みです。會員皆さんのご意見を是非お伺いし、改善につなげていきたいと思いますので、是非ご意見をお聞かせ下さい。アドレスメールは次の通りです。紫雲会東京支部 H P 委員会 榎本恵 宛

kei-eno@c5.so-net.ne.jp

出席者名簿

草薙年度	氏 名	草薙年度	氏 名	草薙年度	氏 名
昭和 28年	◇ 小泉 賢二	昭和 35年	◇ 多田 輝雄	40年	藤村 茂一
28年	◇ 小泉 弘夫	35年	◇ 富田 安洋	40年	三木 茂雄
28年	◇ 小泉 清	35年	◇ 倉山 洋子	41年	西本 茂雄
28年	◇ 藤田 圭夫	35年	◇ 山本 隆夫	42年	中嶋 恒惠
28年	◇ 若宮 修三	35年	◇ 北川 寛夫	42年	藤本 博男
28年	◇ 川田 淳	36年	◇ 北川 寛夫	43年	菅野 博幸
29年	◇ 岡井 久信	36年	◇ 西村 達夫	48年	三村 重良
29年	◇ 藤井 美夫	36年	◇ 西村 達夫	51年	◇ 西村 重良
29年	◇ 山本 久子	36年	◇ 西村 達夫	51年	◇ 西村 重良
31年	◇ 宇田川 西郎	36年	☆ 遠田 貞男	52年	◇ 秋山 貞久
31年	◇ 飯 昭幸	36年	◇ 遠田 武司	52年	◇ 櫻谷 昌雄
31年	◇ 山本 大男	36年	◇ 太山 昌代	55年	◇ 遠原 真雄
31年	◇ 松本 彰	36年	◇ 太山 昌代	55年	◇ 太田 郁治郎
32年	◇ 安西 倉一	36年	◇ 吉田 晴昭	56年	◇ 福光 徹
32年	◇ 安西 倉一	36年	◇ 吉田 孝子	57年	高 広
32年	◇ 大野 実	36年	◇ 杉本 孝子	57年	小林 美一
32年	◇ 竹田 英明	36年	◇ 杉本 孝子	60年	◇ 藤外 一郎
32年	◇ 佐々木 修	36年	◇ 岡崎 美智子	62年	田村 健一
32年	◇ 佐々木 清彦	36年	◇ 田所 幸子	3年	田宮 誠
32年	◇ 中村 暢三	37年	◇ 小石 誠一	8年	石田 知行
32年	◇ 岩崎 公太	37年	◇ 横 清司	11年	梅 山
33年	◇ 安岩 博	37年	◇ 坂口 俊二	20年	桑原 千栄
33年	◇ 小原 清	38年	◇ 坂口 俊二	20年	美馬 由紀子
33年	◇ 木下 弘香	38年	☆ 桑原 洋子	20年	山地 秀雄
33年	◇ 木下 昇	38年	◇ 神内 敏子	21年	山地 秀雄
33年	◇ 中 雅夫	38年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
33年	◇ 中 雅夫	38年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
33年	◇ 西川 好治	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
33年	◇ 西川 好治	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
33年	◇ 八木 和子	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
33年	◇ 八木 和子	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
33年	◇ 小林 紀子	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
33年	◇ 小林 紀子	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
34年	◇ 海山 敬	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
34年	◇ 小谷 義徳	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
34年	◇ 山中 イツ子	39年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
35年	◇ 赤澤 信夫	40年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
35年	◇ 赤澤 信夫	40年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
35年	◇ 赤澤 信夫	40年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏
35年	◇ 赤澤 信夫	40年	◇ 池田 由子	21年	川田 太敏

★印：支部長
◎印：最前編組
○印：支部長代行
☆印：副支部長
◇印：理事
＊印：事務局員

来 賓 校 教 諭
母 校 教 諭
元校長 (一高OB会)
関東桜葉会会長 (一高OB会)
バイオリン演奏者
ピアノ伴奏者

女性 4
来 賓 22
一 般 1
21-29歳 2
30歳まで 2
参 加 者 計 29

計 13
107
12
9
126

東京支部 俳壇
俳句、歌壇

○現代川柳・創作

作者（32年卒 安西 まさる様）
老いてなお太刀を握って何処へ行く

嫌われぬ距離を踏みはずして男
校則を守って馬鹿にされた日よ
他人だから言える運命との惨禍
讃岐の風に心晒せば生き返る

作者（36年卒 吉田勝昭様）

これしきで負けてたまるか大津波
これからは命令タメと妻は言う
赤ひげもベットの客で大弱り
師も笑顔老いた生徒のかくし芸
無礼講信じたあととは下り坂

○俳句（自由題）

作者（33年卒 吉川俊夫 様）

紅葉狩り悲鳴に似たる滝の音
（奥日光にて）
腰あげし遍路背荷ひとゆすり
（琴電丸町駅前にて）
いずこより来たる清けき
今朝の秋
（自宅ベランダにて）
炎天に母を見舞いてなごむ汗
（柏市某病院にて）

○五行歌

作者（35年卒 福家貴美様）

うす衣をまとう涅槃像の
彫りの深さよ
胸の高さよ
阿蘇五山は
肥の国の火の祈り

水に映えるスカイツリーを
撮るカメラマン
光と
呼吸を合わせるように
早朝の白い息

年次幹事委員会報告

年次幹事委員長 S 33年卒 関 邦義

同郷他校のOB会では年次幹事が中心となつて会を運営し、重要な役割を果たしている。わが母校のOB会紫雲会東京支部も同様に年次幹事が会の中核となつて、東京支部の活性化発展に寄与出来るという強い信念の下、年次幹事会が平成19年に創設された。以来毎年5月に年一回開催され、これまで4回実施して来たが、年を追う毎に出席者が減少し弱体化してきた。この現状を打開する為、これまで支部長直轄であった年次幹事会を常任理事会に内包し、実践的で活動し易い組織に改善する事を目的に、年次幹事委員会を発足させた。さらに、この委員会の活動を強力により具体的に推進する実行役として5名の推進役（昭和33年卒、同39年卒池田、同40年卒谷川、同51年卒萬納、同59年卒二川）が選出され、東京支部との連携を密にする為、榎本支部長代行と造田常任理事会議長を加えた計7名で構成した。年次幹事会の企画・開催を含め、年次幹事自体の見直しと新たに年次幹事を発掘する事を目標に活動を開始し



平成 22 年 5 月 年次幹事一同

た。会員と東京支部とのパイプ役としての役割を果たせる名実ともに活力のある年次幹事を選任し組織化することが急務であり、早急に現在の東京支部と年次幹事との関わりを分析する必要がある。その結果年次幹事が正・副完備され、同期会を継続的に開催している年次は、会員の把握も良く総会への出席も多いという事実であった。そこで手始めに昭和44年卒までの60歳以上の年代の年次幹事を見直し、正・副両幹事を完備し、さらに昭和45年卒以降63年卒までの昭和の年代の見直しと新年次幹事の発掘を精力的に行つた。推進役5名は1ヵ月強の間、時間と労力を掛け、各年次の会員1人1人に電話で幹事適任者を探し、就任を依頼するといった地道な方法を実践し、20名の新幹事の誕生を見た。今後我々推進役は、各年次幹事が会員の把握をするに当たっては出来る限りのサポートをして行きたい。紫雲会東京支部の会員が増え、賑やかな総会が出来ることを願いつつ。

34年次同窓会のご報告
“50年ぶりの就学旅行”

年次幹事 S 34年卒 海面 朗

昭和34年卒の東京支部のメンバーが久しぶりに集まる機会があった。中には卒業以来の再会もあった。懐かしさで話がぐいに盛り上がった。その時、誰からか「34年卒は就学旅行がなかったなあー」、「そうだ、そうだ、50年ぶりに就学旅行をやるうよ！」話はトントン拍子に進み、「同じやるなら高松本部、大阪支部にも連絡して参加者を募ろう」ということになりました。結果、平成22年5月18・19日、熱海温泉で一泊二日、念願の修学旅行をしました。参加者は高松本部から4名、大阪支部から6名、東京支部から12名の計22名が顔を合わせました。参加者の卒業アルバムからコピーしたものを配りま

したが、当時の面影が殆んど残っていない者、また、そっくり年老いた者、とお互い指摘し合い、昔話で世の更けるまで満喫しました。宴会では近況、家族構成等自己紹介をし、最後には高松本部から持参の「高商」校旗の前で校歌斉唱し、記念写真を撮りました。来年は大阪でぜひ再会しましょうと約束して一日は終わりました。翌日は熱海を中心に貸し切りバスで遊覧し、熱海近辺を満喫しました。最後に、50年半世紀経つてもこのような催しに参加できた皆様に乾杯。

四三年次同窓会と「フオー」

年次幹事 S 43年卒 藤木康男

「フオー」青く澄みきつた空に向つて思わず叫んでおりました。そう、ここは茨城県T浦カントリーの西一番ホール。メンバーは、初めて高松商業にカヌー同好会を創り、大きな身体で力強いショットのEYさん、バスケットボールから小さなボールで3ポイントシュートのようなショットを放つK野さん、それにアイアンショットが正確なMりさんは応援隊出身。そして私は自動車部。紫雲会東京支部総会で四〇年ぶりに会い、その後は年に数回集まってゴルフと飲み会で楽しんでいる仲間の1コマです。お互いが違ったクラスでありながら同窓・同期ということ、ほっとした時間を楽しみ、気がゆるみすぎた際に先のゴルフのように隣のフェアウエーへの打ち込みになります。飲み会では、飯田橋の後輩の店で忘年会をした際は電車を乗り過ごし、四谷で飲んだ際には二日酔いで家族に呆れかえられながら許されるのも同期会だからです。

我々四三年卒は、今日、全員還暦を迎えました。多くの者は現役を続けており、そして今まで以上に人生を楽しもうとしております。ゴルフ

フを楽しみ畑で自然に戯れ、旅行で新鮮な刺激を受けながら、NPO活動にも参加するという具合です。卒業してボーリング、麻雀、ゴルフにカラオケ。オイルショックに、バブルの絶頂と崩壊。今そっぽんは忘れてもPCはOK。最近では東日本大震災等と多くの経験をした仲間と情報交換できるというのは頼もしい限りです。

東京地区には四三年卒が約二五名。時間的なゆとりもでき、今後は紫雲会東京支部を核としてより多くの同期との触れ合いに期待しているところだ。

営業（建設業）で、かく戦った

常任理事会議長 S 36年卒 造田貞男

校歌にある「土魂商才」は武士の精神と商人としての才覚、という意味です。平安時代から和魂漢才明治時代は和魂洋才といわれるように、日本人としての精神、誇りを失わず、進んだ他国の文明・文化を吸収・導入した先人の知恵と考えられます。私は設備会社の営業を入社以来50年間、携わつたものの、土魂商才を極めないまま現役を昨年（68歳）退きました。今回、建設業の営業について、その一端をご紹介します。後輩の一助になればと思ひペンを取りました。建設業は受注産業で、受注が途切れると途端に倒産する弱い体質です。故に、建設業は請負業をもじって受け負け業と称する人もいます。営業は受注機能を司る重要な役割。受注には、通常の受注活動と造注活動があります。昔のアフリカ土着民は裸足が普通であつたが、裸足だから裸足がない、と考えるのが受注営業で、靴を履かして売ろうと考えるのが造注営業です。私は受注営業、造注営業であっても提案（ブレ

ゼン）営業が最も重要と思ひました。多いプレゼンの中で、一つの提案営業の実例をご紹介します。ある日、T自動車会社が東北に進出し、一貫製造工場（500億円投資）を建設するという情報入手した。当時、私は東北支店の営業部長で、直ちに営業を開始した。施主とのコンタクトの中で、施主（建設本部）は寒冷地特有のリスクがあるのではないか、と気にしていることが分かった。本部の失敗は決して許されないことは当然で、私はこの施主の懸念解消が、営業課題だと直感しました（営業の着眼点）。翌日以降、仙台気象台に日参し、現地に於ける10年間の気象データ（天候、温度、雨量、風速、風の方位、積雪、降雪等）取りをし、更に3箇所の現地隣接農家の井戸水を取水し、県衛生試験場で、水質分析をしました。次に、現地の中役所で、各種資材の指定状況や凍結深度等について調査をした。この現地環境状況と当社の持つコンテナツ（凍結対応、エアバリア等）を結合させ、資料作りをしたのです。3回に亘るプレゼンは順調に進み、これが設備設計に繋がり、結果はJVの幹事会社として、全ての建屋設備工事一切を受注出来ました（追加も含め当社分約30億円受注）。私はこの着眼点の実行が真の受注要因と思ひます。更に、営業に必要な国家資格（宅建、ビル環境等5つ）を取得するため、短期大学（受験条件）、設備学校、会計学校、市民学校等6年間超通学し勉強しました。しかしながら、他の先輩はもっと勉強、工夫され、その結果、成功された方が多く見られます。現役の皆様、先輩も現役時はそれなりに頑張つてやつてきました。頼れる存在として。



スポーツ情報 スナップショットあれこれ



右・高知マラソンを美業団で力走中の長尾選手
下右・現在もマスターズ陸上で活躍中の宮本
洋子さん。ガンバレ!!
下中・高校バレー全国大会出場で激励に訪れ
た安西支部長、榎本代行、安西常任理事。
下左・全国大会で奮闘中の高商チーム。

会員作品展 作品募集

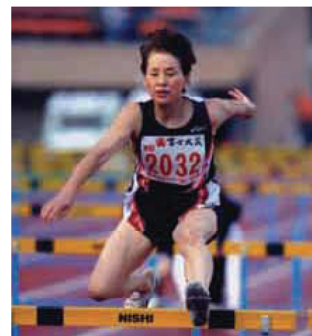
○絵画 出品点数 3点以内
大きさ 30号まで
○写真 出品点数 3点以内
大きさ 全倍まで
○書道・版画・工芸等 出品点数・大きさ 相談

申込期限 6月18日(土)
申込方法 左記へFAXまたはTEL
・絵画 片岡英明 FAX/TEL
0436・23・7839
・写真 中西 勲 FAX/TEL
042・592・7407
・書道・版画・工芸等 漆原事務局長に確認ください。

TEL03・5668・3320
(注)①額装・パネル等の寸法通知のこと
②多数応募の場合、展示数を調整
させていただきます。

搬入 7月2日(土) 午前10時
〒104-0061
中央区銀座7-13-20
サンミ高松7丁目店
TEL03・5646・8182

(注)①宅急便利用の場合、右記へ
1日(金)13時17時配達指定
②吊下げひも取付けのこと
展示 搬入後出品者全員で実施
撤去 総会終了20分後各自搬出



平成22年度 東京支部定期総会風景



平成22年度 東京支部展示会風景

